

稼げる！プロコン育成塾

15期 第3回講義レポート

稼げる！プロコン育成塾 15期 第3回講義が、下記の通り行われましたので、ご報告いたします。

■実施要領

開催日時	2015年8月29日(土) 10:00~17:00	
開催場所	東京都中小企業診断士協会 中央支部事務所 (東京都中央区日本橋堀留町)	
開催内容	【書く(執筆)②】 小論文作成演習 出版ノウハウと出版企画の立案	講師: 鴨志田 栄子 塾長 亀田 憲 先生
	【特別講義・キャリアビジョン③】 独立後の仕事獲得法	特別講師: 大森 啓司 先生
	【特別講義・書く(執筆)③】 『企業診断』編集長に聞く! 執筆とは	特別講師: 楢崎 環 編集長

■講義の流れ

10:00~	合宿のご案内(事務局 三好)
10:05~	講義「小論文執筆上の注意点」「評価の着眼点」(鴨志田塾長)
10:50~	塾生によるレジュメの作成
11:30~	塾生各自からレジュメ内容の発表・評価
12:15~	昼休憩
13:00~	特別講義「独立後の仕事獲得法」(大森先生)
15:05~	休憩
15:15~	講義「ゼロから学ぶ『出版ノウハウ』」(亀田先生)
16:05~	特別講義「今、望まれる執筆企画とは」(楢崎編集長)
17:00	講義終了

■第3回講義レポート

8月にしては涼しい気候となった29日(土)に、第3回講義が中央支部事務所にて行われました。今回は特別講師として大森先生と楢崎編集長のお二方をお招きし、4つのテーマによる講義にて非常に密度の濃い1日となりました。

(1)小論文作成演習

当塾では、塾生に「書くスキル」を身につけていただくため、ビジネスを題材とした小論文を全員に作成していただいています。小論文の作成に入る前に、論文構成の骨格を作るため「レジюме」を作ります。今回はこのレジюмеを作成する演習に取り組みます。塾生は、事前にテーマを考え、レジюмеを作るにあたって必要な情報を収集した上でこの日に臨んでいます。

写真 1 鴨志田塾長による講義



まず塾長から小論文作成上の注意点についてテキストに沿って講義が行われ、全員で基本的なスキルを確認しました。続いて、各自予習してきた内容に沿ってレジюмеの作成に取り組みました。テーマ、論点、大枠(構成)、配分、図表の活用、タイトルなどを確認しながら作っていきました。30分ほどの作業の後、各自5分程度でレジюмеの内容を発表しました。運営スタッフも加わり、各自の発表内容を評価しあい、改善点を認識することで、ブラッシュアップをしていきます。こうして作成され

たレジюмеを元に次回講義までに本文を肉付けし、再び塾生及び運営スタッフによる相互校正を通じて、完成度を高めていく予定です。塾生の皆さん、引き続き頑張ってください！

(2)独立後の仕事獲得法

特別講師としてお迎えした大森啓司先生より、サラリーマンから独立し、中小企業診断士を経て経営コンサルタントになるまでの仕事への取り組み方について講演をいただきました。大森先生は、中小企業診断士は「国の施策を実現する仕事を行う人」であり、経営コンサルタントは「企業に対するコンサルティングで経営者からお金をもらう人」であるという持論をお持ちです。将来どちらを目指すのかで、独立後のアプローチは異なるとのことでした。診断士=コンサルタントという程度の理解しかなかった自分にとっては新鮮な視点であり、稼げるプロコンになるには今後どうあるべきかを考えさせられました。

また独立の不安についても言及され、「我が国にはセーフネットがあり、誰でも最低限の生活は保障され、生きてはいける。そこまで落ちてみずれ這い上がって、今以上の収入を得る覚悟やスピリッツこそが独立には必要だ」という教えをいただきました。現在、先生は企業の社長や営業責任者向けに、コンサルティング営業ができる人材育成や組織改革に関するセミナーを行い、関心を持たれた企業向けに更に踏み込んだ支援を行

写真 2 大森先生による講演



われているそうです。セミナーを打つ苦労話やそこからビジネスにつなげるノウハウなどを惜しみなくご披露頂いた大森先生。塾生はとても勉強になったと思います。本当に有難うございました。

(3)ゼロから学ぶ『出版ノウハウ』

続いて亀田先生より、ご自身の経験に基づく具体的な出版ノウハウについて講義をいただきました。営業ツールとしても重要視される本の出版や雑誌記事への執筆は、診断士にとって必須のスキルです。テキ

写真 3 亀田先生による講義



ストに沿って手法や手順、企画の立て方からプロモーションまでの基本を、初心者でもわかるように平易な言葉で分かり易く、事例を交えながらご説明いただきました。来年の1月になりますが、今回学んだ内容をもとに、実際の執筆企画を立てる演習を行います。それまでに各自で企画構想を練ることになりました。

当塾では、毎年のように雑誌記事の執筆企画が採用されています。今年も14期生が執筆した記事が月刊「企業診断」誌に採用され、特集と連載の2本が同時に掲載される予定です。15期生からも採用される企画が誕生することを願っています。

(4)今、望まれる執筆企画とは

月刊『企業診断』、『企業診断ニュース』など診断士にはおなじみの雑誌や本を出版する株式会社同友館の檜崎編集長をお招きし、タイトルにあるテーマで講演をいただきました。亀田先生との対談形式で講演が進められ、自己紹介やテキストに基づくご説明の後、事前に塾生から提出された質問に編集長からお答えするという形式で行われました。

冒頭に、通る企画の作り方についてのお話があり、他人には書けないオリジナリティのある企画内容を心掛けることや常に好奇心を持って気づいたことは何でもメモをとるなどしてアイデアを練っておくことなど、いくつかのアドバイスをいただきました。そして、執筆の段階ではとにかく納期を守ること、それとともに、次も一緒に仕事をしたいと思わせる対応を心掛けることなどについてもお話いただき、塾生にとってはまさに目から鱗のお話を伺えたのではないかと思います。編集長、本当に有難うございました。

写真 4 檜崎編集長による講演



次回、第4回講義は9月26日(土)から2日間にわたって行われる合宿講義です。千葉県長生郡の生

命の森リゾート内の研修施設にて、①キャリアビジョンのブラッシュアップ、②先輩独立診断士による独立へのロールモデル、③書くスキルを身につけるための小論文相互添削などを行います。宿泊するコテージでは卒業生も合流しての懇親会も予定されており、ネットワークを広げる大きな機会です。次回合宿にどうぞご期待下さい。

(事務局:佐野 元保)